BUTTERFLY

運輸・物流

日次業務レポートは、毎朝誰の手を通っているか？

1日約300万回の乗車を支える鉄道事業者では、27ページのレポートを毎朝手作業でまとめていました。
Butterflyにより、レポートは毎朝自動で用意されます。

約3,600名	約300万	42のSAPモジュール
従業員	1日あたりの乗車数	引き続き稼働



課題

貴社が直面している課題

01 乗車、現場点検、人事、保守のデータが**SAP、分析キューブ、複数のデータベース、モバイルアプリに分散していた。**

02 **27ページの日次業務レポート**を毎朝手作業でまとめていた。

03 重いレポートクエリに**数分かかり**、事業部門は新しいレポートのたびに**IT部門を待っていた。**

解決策

Butterflyでどのように解決したか

既存システムは一つも撤去していません。Butterflyはそれらの上に共通のデータ・意思決定層として構築され、事業部門はコードを書かずに自らダッシュボードを作成しています。

- ✓ **SAP基盤との接続。各モジュールは引き続き稼働**
- ✓ **時系列最適化によるクエリの高速化**
- ✓ **日次レポートを夜間に自動生成**
- ✓ **現場点検データを同日中に指標化**

成果

現場で、測定。

27ページ	30分 → 3秒	約10万行
の日次業務レポートが毎朝準備済み	重いレポートクエリの所要時間	の日次現場データを同日中に指標化

顧客名は守秘義務により非公開としています。数値は組織の記録に基づいています。

同様のプロセスがありますか？

30分のミーティングで一緒に検討しましょう。

QRコードを読み取って、ミーティングをお申し込みください。

ミーティング申込